

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2022.1.31時点)

分類	保管場所	保管容量 ^{※1,2}	保管量 ^{※1}	前回集約からの増減 ^{※3} 2021.12.28 - 2022.1.31	エリア 占有率	保管量/保管容量 ^{※1,2} (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	13,800 m ³	0 m ³	0 m ³	0%	227,800 / 278,000 (82%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 タンク関連工事、敷地造成関連工事、水処理設備関連工事（エリアC） エリア整理のための移動（エリアP1） フランジタンク除染作業（エリアAA） 1～4号機建屋周辺関連工事（エリアd） エリア整理のための移動（エリアe）
		B	5,300 m ³	5,300 m ³	0 m ³	100%		
		C	67,000 m ³	66,200 m ³	+200 m ³	99%		
		F2	7,500 m ³	6,400 m ³	0 m ³	85%		
		J	8,000 m ³	6,200 m ³	0 m ³	78%		
		N	10,000 m ³	9,600 m ³	0 m ³	96%		
		O	51,400 m ³	44,000 m ³	0 m ³	86%		
		P1	64,000 m ³	62,000 m ³	-600 m ³	97%		
		U	800 m ³	700 m ³	0 m ³	100%		
		V	6,000 m ³	6,000 m ³	0 m ³	100%		
		AA	36,400 m ³	20,200 m ³	+300 m ³	56%		
		d	1,200 m ³	400 m ³	+300 m ³	31%		
		e	6,700 m ³	700 m ³	+700 m ³	11%		
		D	4,500 m ³	2,600 m ³	0 m ³	58%		
E1	16,000 m ³	14,700 m ³	-100 m ³	92%				
P2	9,000 m ³	5,900 m ³	0 m ³	65%				
W	29,300 m ³	9,600 m ³	0 m ³	33%				
X	12,200 m ³	6,200 m ³	0 m ³	51%				
覆土式一時保管施設、容器 (1～30mSv/h)	F2 ^{※4}	3,100 m ³	2,000 m ³	+1,000 m ³	64%	17,000 / 18,500 (92%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 エリア整理のための移動（エリアF1） 	
		n	3,300 m ³	2,900 m ³	0 m ³			88%
		L	16,000 m ³	16,000 m ³	0 m ³			100%
固体廃棄物貯蔵庫	F1	1,800 m ³	600 m ³	0 m ³	35%	27,100 / 39,600 (69%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 1～4号機建屋周辺関連工事、エリア整理のための移動 	
		700 m ³	400 m ³	-300 m ³	54%			
合計(ガレキ)		413,400 m ³	315,800 m ³	+1,800 m ³	76%			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	40,000 m ³	31,200 m ³	微増	78%	103,600 / 134,000 (77%)	
		H	43,000 m ³	31,700 m ³	0 m ³	74%		
		M	45,000 m ³	39,800 m ³	0 m ³	88%		
		V	6,000 m ³	900 m ³	+100 m ³	15%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	29,700 m ³	26,200 m ³	0 m ³	88%	37,300 / 41,600 (90%)	
合計(伐採木)		175,600 m ³	140,900 m ³	+100 m ³	80%			
保護衣	屋外集積	52,500 m ³	27,000 m ³	+400 m ³	52%	27,000 / 52,500 (52%)	<ul style="list-style-type: none"> 使用済保護衣等焼却量： 10,571 t（2022年1月末累積） 焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数： 2,692 本（2022年1月末累積） 焼却灰は固体廃棄物貯蔵庫9棟2階に放射性廃棄物として保管 	
		合計(使用済保護衣等)		52,500 m ³	27,000 m ³	+400 m ³	52%	

※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある
 ※2 保管容量の記載については、廃棄物管理の適正化の検討を踏まえて見直す
 ※3 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む

仮設集積の管理状況(2022.1.31時点)

分類	場所	保管容量※1		保管量※1		前回集約からの増減※2 2021.12.31 - 2022.1.31		エリア 占有率	保管量/保管容量※1 (割合)	トピックス
仮設集積	①	3,000	m ³	2,800	m ³	0	m ³	92%	54,100 / 63,900 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 仮設集積場所は工事で発生した不要物品や撤去物を分別、容器収納し、一時保管エリアに移送するまで一時的に保管する場所である エリア整理、コンテナ点検に伴い一時保管エリアへの瓦礫等の搬入が停滞しているため、仮設集積が長期化、量が増加している この状況を改善し、廃棄物管理の適正化を図るため、まず、2021年度内にできるだけ固体廃棄物Gの仮設集積場所に仮設集積を集約して管理できるようにする計画である また、一時保管エリアの保管容量を確保し、2022年度内に仮設集積を最小化する計画である
	②	3,000	m ³	3,000	m ³	0	m ³	100%		
	③	2,000	m ³	1,800	m ³	0	m ³	92%		
	④	12,000	m ³	10,100	m ³	+400	m ³	84%		
	⑤	14,000	m ³	13,800	m ³	0	m ³	99%		
	⑥	4,000	m ³	2,800	m ³	+300	m ³	70%		
	⑦	9,000	m ³	6,800	m ³	+500	m ³	76%		
	⑧	4,500	m ³	3,500	m ³	微増	m ³	78%		
	⑨	1,500	m ³	1,500	m ³	0	m ³	100%		
	⑩									
	⑪									
	⑫									
	⑬									
	⑭	2,200	m ³	2,200	m ³	0	m ³	100%		
	⑮	2,000	m ³	2,000	m ³	0	m ³	100%		
	⑯	5,600	m ³	2,800	m ³	0	m ³	50%		
	⑰									
	⑱	1,100	m ³	900	m ³	0	m ³	84%		

※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある

※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す

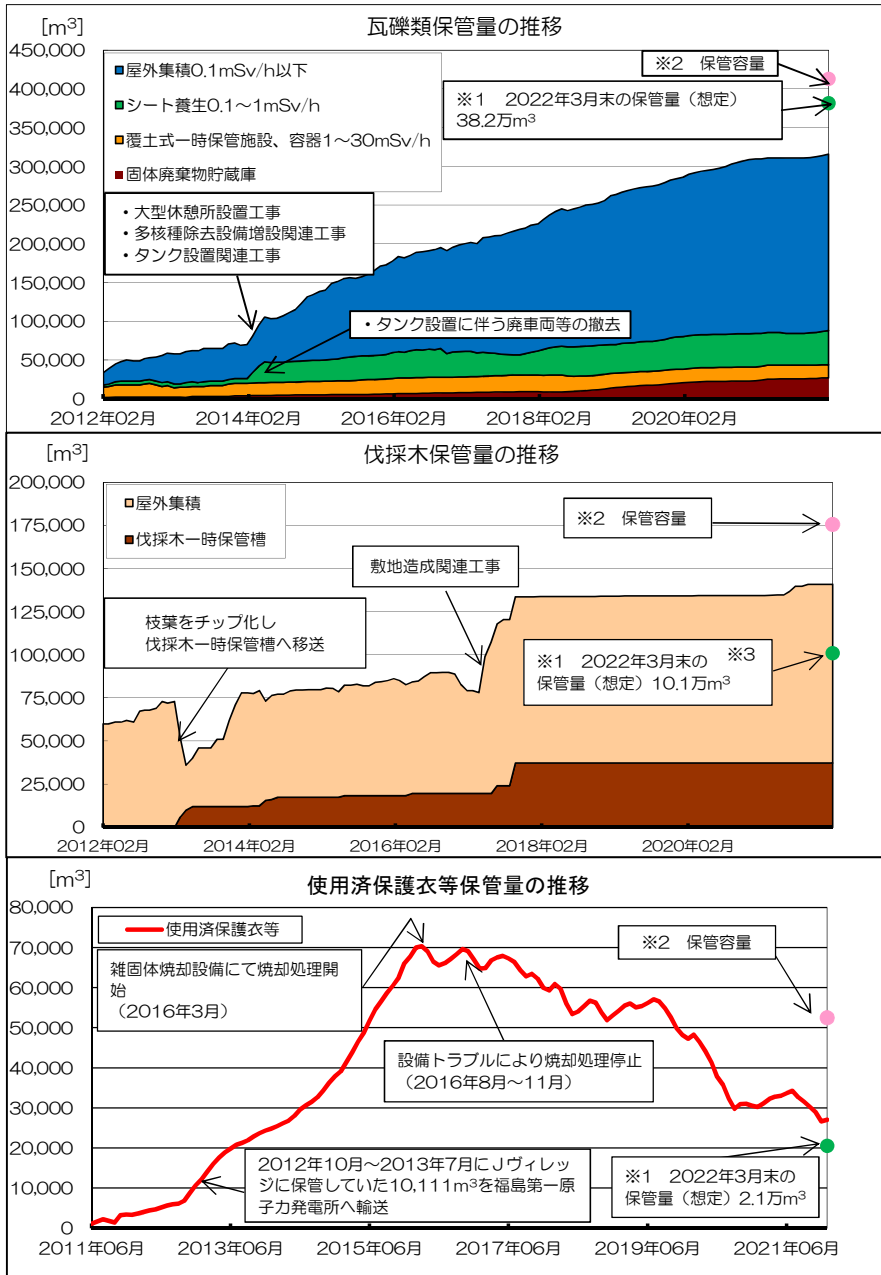
水処理二次廃棄物の管理状況(2022.2.3時点)

分類	保管場所	種類	保管量		前回集約からの増減 2022.1.6 - 2022.2.3		保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779	本	0	本	5,299 / 6,372 (83%)		
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	248	本	0	本			
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	11	本	0	本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,975	基	+5			基
			増設	1,968	基	+14			基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	83	本	0			本
		多核種除去設備処理カラム	既設	17	塔	0			塔
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		218	本	0			本
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	437	m ³	-1	m ³	437 / 700 (62%)			
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,300	m ³	0	m ³	9,300 / 10,300 (90%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内(現場パトロール異常なし) 水位計0%以上の保管量： 9,200 m³ タンク底部～水位計の保管量(DS)： 約 100 m³ 		

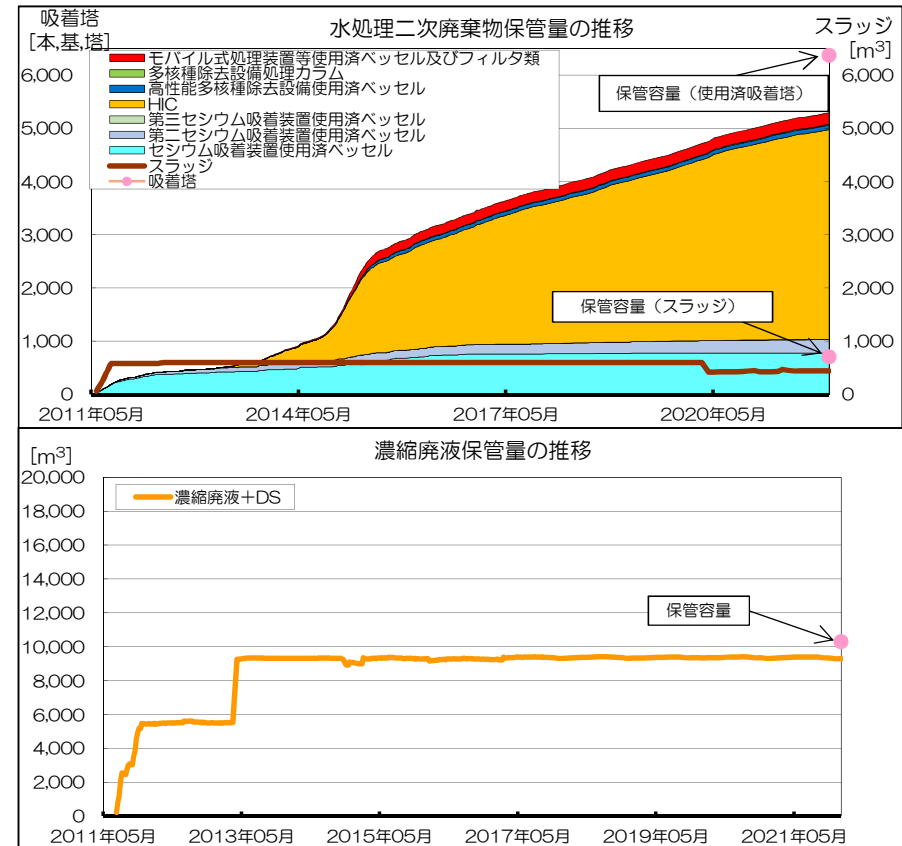
福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2022.1.31時点)



水処理二次廃棄物の管理状況(2022.2.3時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2021年11月11日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。
 ※3 増設雑固体廃棄物焼却設備の竣工遅れに伴い見直し予定